

授業の科目名と概要	担当教員名	配当 年次	単位数		履修 方法 P.4 参照
			必修	選択	
<b>【必修科目】 12 単位必修</b>					
<b>福祉心理学特論</b> レポート 2 本 + 在宅レポート試験で単位修得	佐藤俊人	1・2	4		R
福祉の現場において心理的支援を考える際に重要になる「対象者の無気力状態」の発現のメカニズムを理解し、その予防と具体的な対処法を修得する。					
<b>福祉心理学研究法特論</b> レポート 2 本 + スクーリング (自宅 + 動画 + 本学で実技 2 日間) で単位修得	中村 修	1・2	2		SR ※ 1
心理学に関する研究課題を自ら設定して心理学研究法を用いて研究を進めていくために必要な知識・技術を修得する。					
<b>福祉心理学特別研究 (修士論文作成)</b> レジュメ提出 3 回 + 面接指導 3 回 (本学・1~2 回リモート) + 通信指導 + 修士論文提出 + 口述試問で単位修得	演習科目 担当教員	2	6		SR
原則として、履修した選択演習科目に対応した各自の研究テーマや問題意識を研究に結びつける。先行研究の文献研究により扱う要因を整理し、仮説を立て、それに応じて実験、調査、面接や観察等の手法を通してデータを収集して統計的分析をした上で考察する。何らかの問題を抱えている人に対する心理的支援を考える場合に、実学的な提案に結びつくように、結果や考察をどのように応用できそうかを考えながら研究計画を立てる。詳細は P.30 ~ 31 を参照。					
<b>【選択講義科目】 レポート 2 本 + 在宅レポート試験で単位修得 16 単位以上選択履修</b>					
<b>心理学的な理論と支援</b>	文献研究を通して、福祉、教育、医療、司法をはじめ、日常生活の中で心理学理論がどのように関連づけられているかを学び、問題意識を高めると同時に、演習科目、特別研究への関心を高める。7 つの心理学領域に関する講義が準備されている。それぞれの領域における研究テーマはおおよそ以下のようなものである。				
心理学的な理論と支援 (発達心理学)	発達心理学の基礎的理論と知見の理解と応用	平川昌宏	1・2	4	R
心理学的な理論と支援 (学校・教育心理学)	学校臨床の実践的課題の理解と問題解決理論の修得	中村恵子	1・2	4	R
心理学的な理論と支援 (社会心理学)	社会的認知の観点に基づく人間行動の理解	吉田綾乃	1・2	4	R
心理学的な理論と支援 (臨床心理学)	力動的心理療法の過程とその背景となる理論を理解する	武村尊生	1・2	4	R
心理学的な理論と支援 (健康心理学)	健康をもたらす要因は何か：個人特性と環境要因、及びそれらの相互作用	中村 修	1・2	4	R
心理学的な理論と支援 (司法・犯罪心理学)	司法・犯罪心理学の視点	半澤利一	1・2	4	R
心理学的な理論と支援 (高齢者心理学)	生涯発達心理学の視点から高齢者や認知症者に関連する理論と全人的ケアの実践を理解する	加藤伸司	1・2	4	R
<b>【選択演習科目※2】 事前課題 + スクーリング 3 日間受講 + 事後レポート提出で単位修得 2 単位以上選択履修</b>					
<b>心理学的な支援と応用演習</b>	選択講義科目のそれぞれの心理学的領域に対応した演習科目であり、スクーリングを通して自らの問題意識、研究テーマを深めるものである。心理学的支援の実例等に触れながら心理学の応用可能性について学ぶ。この演習科目は特別研究へつなげるものである。それぞれの心理学領域での研究対象はおおむね以下のようなものである。				
心理学的な支援と応用演習 (発達心理学)	発達心理学の知見を子どもの養育とその支援に活用する	平川昌宏	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習 (学校・教育心理学)	学校臨床の起因と解決方法を考察する	中村恵子	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習 (社会心理学)	社会心理学の観点から現代社会における諸問題の生起メカニズムならびに解決法について考える	吉田綾乃	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習 (臨床心理学)	心理面接法の理論と実践 一事例研究法を中心に	武村尊生	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習 (健康心理学)	行動変容を促進する効果的な方法について考える	中村 修	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習 (司法・犯罪心理学)	司法・犯罪心理学の知見と臨床心理学の方法による人間理解と支援	半澤利一	1・2	2	SR
心理学的な支援と応用演習 (高齢者心理学)	加齢による心理的变化、認知症のアセスメント、支援方法と支援にあたる態度と高齢者の心理学的研究方法を理解する	加藤伸司	1・2	2	SR

※ 1 修士論文を作成する前年度 (通常 1 年目) に単位を修得する必要があります。  
 ※ 2 演習科目は同じ分野の講義科目を履修し特別研究 (論文作成) に結びつけます。